

コロナ渦の今、2時間で学べる

『忙しい人のための公衆衛生』発行!

羊土新聞

2021年（令和3年）
羊月羊日（羊曜日）



羊土社HPで
『忙しい人のための
公衆衛生』
の一部が読める!

公衆衛生は面白い

医学生…新型コロナの流行に伴い公衆衛生の重要性がますます増えています。でも私たち医学生にとって、公衆衛生は実地で経験する機会が少なく、臨床とはまったく関係のないもののようにも思えて、イメージしにくく苦手意識をもつ人の多い分野です。

そこで今回、産業医事務所を営む、「忙しい人のための公衆衛生」を執筆された平井康仁先生に、私たちのつづ公衆衛生への疑問についてご解説いただきました。



平井康仁氏
平井康仁産業医事務所 代表

——平井先生は臨床医ではなく、なぜ公衆衛生の一分野である産業医になったのですか？

実は、入学当初は産業医になるつもりは全くありませんでした。もともとはスポーツ医学を学びたくて医学部を選んだ経緯があります。ですから、「病気を

治して長生きしてもらいたい」という動機はほとんどなくて、むしろ「病気を治して金メダルを取る手助けをしたい」と

思っていました。ですから入学当初から「自分と周りは大分違うな」という感覚はずっとありましたね。

——産業医の仕事は面白いのですか？

面白いですね。スポーツ医学も産業医学も私のなかでは根っこは一緒で、一流の人の手助けをする仕事

なんです。彼らの専門が「スポーツ」か、「会社員」か、違いはそれだけです。

一方で、産業医学というのは一般的には公衆衛生の一分野であって、「はたらく人の健康を社会的に守る仕事」ということになって

います。しかし繰り返しになりますが、私にとつての産業医学というのは、「はたらくという競技」を行って

いる人々を「サポートをする」仕事だと思っています。とてもやりがいを感じますね。

——なるほど、そういう面白さがあるんですね。とはいえ、私は将来整形外科を専門にしたいと思っていますが、私のように臨床を専門にしようと思っている者からすると病気を治すことに役立たない公衆衛生を学ぶ理由がわからないのです。

なるほど、それは鋭い指摘ですね。公衆衛生の価値をきちんと説明しなければなりません。では、こんな患者さんが外来に来たとしてみましょう。「バツティン

コラム 全数PCR検査はなぜ行われないのか？

これは全医療者が間違ふことなく答えられなければならない問いです。

皆さんに問題です。皆さんの家族から、あるいは友人から、こう聞かれたらなんと答えるのが正解でしょうか。

『問：なんで日本では無症状者も含めた全数PCR検査をやらないの？陽性者をどんどんみつけて隔離すればコロナもおさまるし、陰性だってわかれば遊びに行けて経済もまわるのに』きちんと答えられますか？

もし私が一般の人にわかりやすく解説するとしたら、以下のキーワードは必須です。偽陽性、偽陰性、人権。この3つこそが、全数PCR検査をやらない理由です。

さて、解説していきましょう。一般の方が想像している検査

というのは、「陽性＝感染」「陰性＝非感染」ということですが、まずこれが間違っています。検査にはエラーがつきものです。そのため、感度・特異度という考え方があります。今日は詳しく解説できませんが、「本当は感染しているのに検査が陰性になる」「本当は感染していないのに検査が陽性になる」ことが、ほぼすべての検査に存在します。新型コロナウイルスの検査の場合、前者の確率が10%以上、後者の確率が1%弱あると考えられています。そのため、何が起こるかという、

1. 本来感染していないのに陽性となった場合（偽陽性）

不必要に隔離され、人権を制限されることとなります。

そして、ここが政治的な判

断になるのですが、「このような避けられない検査のエラーによって起こる人権の制限は許容されるのか」というのが問題になるのです。「どんな非常事態であっても1人でも間違いによって人権を制限されることはあってはならない」と考える人もいれば、「1万人を守るためなら1人のエラーはやむを得ない」と考える人もいます。この点についての政治的な合意形成が必須になります。

2. 本来感染しているのに陰性となった場合（偽陰性）

こちらは簡単ですね。遊びに行つて、感染をあちこちに広げてしまいます。

ということで、公衆衛生的な観点から感染の可能性の高い人にしかPCR検査を行わないのです。

（編集部より：詳しくは本のP21とP166へ）

グセンターで素手でボールを取ろうと思つたら骨折しました」

さて、医師の仕事は何ですか？

——骨折を治すことです。

普通はそうですよ。きれいに治せるかどうかで医師の腕が決まるわけです。でも、「素手でボールを取

るような状況を事前に回避させる」ことができて、骨折を回避できたかどうかですか？

——理想的ですが、それは医師の仕事ではないですよ。

まさに、この考え方の違いが臨床と公衆衛生の違いなんです。臨床の考え方は「病気を治したい」と思っています。そうですね。医師にしか



平井康仁（ひらい やすひと）
平井康仁産業医事務所 代表

2009年、筑波大学医学専門学群医学類卒業。2015年筑波大学大学院を修了しPhD取得。主な研究テーマは、職域における復職支援、教職員の勤務時間と精神的健康、健康生成など。2018年より現職。日本医師会認定産業医/労働衛生コンサルタント（保健衛生）/社会医学系専門医・指導医。

目的は国民の健康

できない仕事を極めることは非常に重要な価値のある仕事だと私も思います。一方で公衆衛生の考え方は、政治を手段として、健康という目的を達成しようとするものです。考えてみて下さい。医師の本分というのが、「国民を健康

にする」ことなのであれば、その方法は医業にとらわれる必要はどこにもありません。——いわれてみればそつですね。基礎医学も直接医業で患者さんを治しているわけではありませんが、重要だとわかります。ですから、公衆衛生は今までの医学の考え方から離れて学ぶ必要があるのです。——では、具体的にどう学べばよいのでしょうか。先ほど、公衆衛生とは、政治を手段として、健康という目的を達成するものと説明しました。

公衆衛生を学ぶうえで、まず大前提として理解していただきたいのは、公衆衛生とは政治が手段であること、そして皆さんが骨の髄まで染み込められたEvidence Based Medicineが最も価値の高いものとは言い切れない、ということ

ことがわかんと思います。——今までの医学の学び方が役に立たなそうですね。そうですね。最初のうちは基本的には全く別のもの、と理解してよいでしょう。まずは「利害関係者を含めた合意による立法」ですが、これは国民が守るべきルール、すなわち法律を定めるということです。国民の意見を反映させたルール作りを行っているのが国会です。国会での合意形成の結果が法律です。

医学と政治は公衆衛生

次に「そのルールにもとづいた行政」です。これはさまざまな形を取りますが、公衆衛生としてまず学ぶべきなのは行政が法律に則って業務を行っているということです。この一連の立法、行政、すなわち政治が公衆衛生の核といえます。例をあげれば、タバコが発売禁止になっていないのは

Evidenceの問題ではなく、ただ国会で合意形成が行われていないというだけのことなのです。つまり、実際の公衆衛生の現場では「Evidenceはこう」という医学と「法律はこう」という政治の2つの知識が必要なんです。

——より具体的に公衆衛生を知るために、今回の新型「コロナウイルス」の対策を政治と絡めて教えてください。今回の新型コロナウイルス対策における「利害関係者を含めた合意による立法」は、新型インフルエンザ等対策特別措置法という法律です。今回は以前からあった法律を改正して用いています。そして、「ルールにもとづいた行政」についてですが、これは行政のトップである内閣総理大臣を中心として対策が行われました。このとき、行政は先ほどの法律に則って、対策本部を設置し、専門家や学識経験者の意見を聴くための専門家会議を設置しました。これら一連の政治的過程を「公衆衛生」と捉えるといえるでしょう。——お話を伺うと、本当に公衆衛生って政治なのですね。今回は割と極論でした。あ

日羊土社から「忙しい人のための公衆衛生」という本を出版しました。今日お話しした内容をもう少し詳しく、でも短時間で読めるように、公衆衛生の全体の流れと大事な部分を解説している本です。また、学生の皆さんにとって最も重要なことは国家試験に合格することだと思っていますので、その点にも注意して執筆しました。公衆衛生の国家試験の勉強を始める前に読んでおくと、その後の勉強がとっても捗ると思うので、ぜひ一度読んでもらえたらと思います。——それはとてもよさそうですね。国試対策の前にぜひ拝読したいと思います。先生、今日はどうもありがとうございました。



忙しい人のための公衆衛生

「なぜ？」から学ぶ
保健・福祉・健康・感染対策

著 平井康仁 ■ 定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）
■ A5 判 ■ 206 頁 ■ ISBN 978-4-7581-2368-6

臨床につながる目線で、
根拠と大事なポイントを解説した入門書

公衆衛生の羅針盤！